

科目名	英語	科目コード	20270
-----	----	-------	-------

学科名・学年	全学科・1年
担当教員	M, Ee, Ec (田中真由美), Mb, Ci (大湊佳宏)
区分・単位数	履修単位科目・2単位
開講時期・時間数	通年, 60 時間【内訳: 講義 56, その他 4】
教科書	『Prominence English I』(東京書籍)
補助教材	『Prominence English I Workbook Standard』(東京書籍), 『Listening Box1』(啓林館) 『What's Up? 2009-2010 Elementary』(桐原書店), 『ジーニアス英和辞典 第4版』(大修館) 『ジーニアス英和辞典 活用問題集』(大修館)
参考書	『総合英語 Forest 5th edition』(桐原書店)

### 【A. 科目の概要と関連性】

この授業では、中学校における学習内容を踏まえ、「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」能力を総合的に伸ばします。また、自学自習ができるよう、辞書の引き方と発音の指導の他、平易な英語で書かれた本をたくさん読むこと(多読)で英語に親しむ活動も行います。

### 【B. 到達目標と学習・教育目標との対応】

学習・教育評価の目標との到達目標の科目は長岡高専の学習・教育目標の(B)と主体的に関わる。この科目の到達目標を以下の表に示す。

到達目標	評価の 重み	学習・教育目 標との関連
文章の中で登場する単語の意味を自分で調べ、理解することができる。	30%	b3
意味のまとまりを意識しながら、文章の内容を理解することができる。	30%	b3
他人に内容を伝えることができる程度の音読ができる。	20%	b3
読んだり、聞いたりしたことについて感じたことを英語で表現できる。	20%	b3

### 【C. 履修上の注意】

- ・ 授業は予習を前提とします。(予習の方法は担当教員の指示に従ってください。)
- ・ 指定の英和辞典を毎回持参してください。(授業における電子辞書の使用は認めません。)
- ・ 音読活動やペアワークの取り組み状況や発言など、授業への積極的な参加は評価に含まれます。
- ・ 実用技能英語検定や TOEIC Bridge 等の外部試験を全員受験します。

### 【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50 点以上を合格とする。

定期試験(60%)【内訳: 前期中間 15, 前期末 15, 後期中間 15, 後期末 15】

その他の試験(20%): 単語テスト、課題テスト、外部試験など

提出物(10%) その他(10%): 言語活動への取り組み、授業態度など

【E . 授業計画・内容】

前期

週	内容	備考
1	Introduction	多読（随時） Listening Box1, L1~5 What's Up? Unit 1,2
2	Lesson 1 , ジーニアス英和辞典活用問題集	
3	Lesson 1	
4	Lesson 1	
5	Lesson 2	
6	Lesson 2	
7	Lesson 2	
8	前期中間試験	試験時間：50分
9	試験解説 , Lesson 3	多読（随時） Listening Box1, L6~10 What's Up? Unit 3,4 夏休み課題： What's Up? Unit 5,6 Prominence, Option 1
10	Lesson 3	
11	Lesson 3	
12	Lesson 4	
13	Lesson 4	
14	Lesson 4	
-	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

後期

週	内容	備考
1	夏休み課題テスト , Lesson 5	多読（随時） Listening Box1, L11~15 What's Up? Unit 7,8
2	Lesson 5	
3	Lesson 5	
4	Lesson 6	
5	Lesson 6	
6	Lesson 6	
7	後期中間試験	試験時間：50分
8	試験解説など	多読（随時） Listening Box1, L16~20 What's Up? Unit 9,10 冬休み課題： Prominence, Option 2
9	Lesson 7	
10	Lesson 7	
11	Lesson 7	
12	Lesson 8	
13	Lesson 8	
14	Lesson 8	
-	後期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	